

春季永代経は「自宅」にて参拝下さい — 新型コロナウイルス感染拡大を受けて —

新型コロナウイルス・オミクロン株の急激な感染拡大により、町内でも連日感染者の発表が続いています。昨年までのデルタ株にくらべ、感染力が強く、全国的にかつてない広がりを見せています。感染しても重症化のリスクは低いと言われていますが、若者から高齢者に感染した場合、特に持病をお持ちの方や、体力が弱っている人は油断することはできないと思います。

そういったことから、やむ無く、門徒の皆さんのお参りを中止し、住職と役員さんのみでお勤めすることとなりました。さらに感染が拡大して状況が悪化した場合は、さらに対応を考える必要があるかもしれません。とても残念ですが、仏さまは逃げたりしま

せんので、今は安全第一で、このような決定をさせていただきます。ご了承くださいますとともに、みなさまにおかれましては、くれぐれも気をつけてお過ごしください。そして体調がすぐれないときは、すぐに医療機関にご相談されますようお願いいたします。

◆ 永代経は、亡くなられお浄土に還られた方々を偲び、仏様のご縁に感謝する法要です。亡くなられた方を供養するというよりも、仏となられた方が私にはたらきかけてくださっている、そのことに気づき手を合わせるのが永代経です。みなさんと一緒に本堂でお参りすることは叶いませんが、どうかそれぞれの場所からお念仏ください。



◆ 年末からの記録的な大雪で生活が大混乱。除雪しても除雪しても後から後から降り積もり、70センチを超える積雪となりました。スーパーの食料品売り場も空っぽで途方に暮れてしまいました。そんな中でも、字内の道路をトラクターで走り回ってくださる方や、公共のところまで雪どけをしてくださる方がいて、本当にありがたく頭が下がる思いでした。災害級の雪にも関わらず、電気も水道も電話も止まることなく使えたのは、それぞれの現場で奮闘してくださっている方々のお陰様です。本当にありがとうございます。(住職)

二月(如月)の予定

春季永代経

二〇日(日) 午後一時半

住職・役員さんのみでお勤めします。

別掲の通り、新型コロナウイルスの感染拡大にともない、「門徒のみなさまはご自宅等にてお参りいただき、本堂でのお参りはご遠慮ください。」



おとなと子ども

ほとけさまのお話

むかし、よしざき村というところに、おキヨさんという女のひとと、おばあさんが一人であらいました。おキヨさんは、それはそれはしんじお深い人で、まいばんお寺に通ってお

参りをしていました。おかげで、村の人とも仲良く、とても人気者だったそうです。ところが、おばあさんは、そんなおキヨさんがうらやましく、にくらしくなってきました。

あるばん、おばあさんは、おキヨさんをこわがらせてやろうと、オニのお面をかぶり、かみの毛をふり乱してお寺の前でかくれていました。そしておキヨさんの前にわあ！と飛び出しました。おキヨさんはびっくり！思わず「ほとけさまが私をまもってください」と、おねんぶつをとええながらにげました。

おばあさんは「ざまみろ」と思いました。そして急いで家に帰ってオニの面をはずそうとしました。ところが、どうしてもお面が顔からとれませんでした。そこへおキヨさんが帰ってきました。おばあさんは泣きながらおキヨさんにわけを話すと、おキヨさんは「おばあさん、どうか、おねんぶつをとええてください」と言いました。おばあさんが「なむあみだぶつ」ととええると、お面はぼろりと取れたそうです。それからというもの、おキヨさんとおばあさんは、仲良くねっしんにお寺にお参りしたそうです。

*おとなの方へ

吉崎御坊に行くと、いまま大谷派のお寺と本願寺派のお寺の両方に「鬼の面」が残されています。これは聞いた話ですが、ある人がお寺のそばのお土産屋さんに「どの鬼の面が本物ですか?」と聞きますと、お店の人が、「そこに鏡があります。そこに映っているのが本物です。」と答えたそうです。さて、そこに写っていたのは・・・



寒くとも袂に入れよ西の風 弥陀の国より吹くと思えば

大雪がようやく落ち着いたある日、雪の上に残された、たくさんの足跡を見つけてました。イヌ？ ネコ？ それとも野生動物か？ 野生動物だとすれば、こんなに雪が積もっていたら食べ物を探すのも大変でしょうし、それよりも寒さで凍え死んでしまわないか心配にすらなっています。

◆ 親鸞聖人は、ある晩秋、布教の旅の途中で日野左衛門に一夜の宿を求められました。しかし人間不信で機嫌も悪かった左衛門は、「釈迦の弟子として修行の身ならば、野宿して石を枕にねれば良い」と言って断ってしまいました。親鸞聖人は、極寒の吹雪の中、「左衛門殿の言う通りだ、ここで、石を枕にして一夜を明かそう」とおっしゃって横になられました。心配したお弟子に対して詠われたのが最初に紹介した西の風の歌です。

ところが左衛門の夢に観音さまがあらわれて、「左衛門よ、いま門前に阿弥陀様がおられるぞ。早くみ教えを仰ぎなさい」と告げられたのです。



左衛門が慌てて門前に出てみると、吹雪の中で一心に念仏を唱えておられる親鸞聖人がおられるではありませんか。すぐさまご一行を家の中に招き入れ、非礼を詫言るとともに、これまでの自らの悪行を告白したのでした。親鸞聖人は、「私たちは悪いことばかりしているし、人を憎むことが多いです。しかし阿弥陀さまはそんな私でも救い取ってくださいなのですよ」と左衛門に説かれ、入西坊道円というお名前のお弟子にされたのでした。いわゆる石枕の故事として知られるお話です。

◆ 親鸞聖人は、冷たい西の風も、仏さまからの呼びかけだとおっしゃいました。私たちは、ついつい都合の良い時だけ、困った時だけお念仏を唱えがちです。春風も、夏の暑い風も、秋の涼風も、そして寒風も、阿弥陀さまの呼び声は、いつでも私に吹いているのです。

◆ 暖房をつければ暖かく、お風呂に入ってくつろぐこともできますし、真冬に暖かい部屋でアイスクリームを食べることもできますが、風邪をひかなないように体調に気をつけながら、たまには風の声を聞いてみるのも良いかもしれません。

◆ 別のある晩、玄関の扉を開けると、大きな丸々と太った黒い動物が走っていきのが見えました。足跡の正体は、どうやら大きなタヌキだったようです。野生動物に餌をやることはできませんが、がんばって食べ物を探して春を迎えてほしいな、そんなことを思いました。



★ 星空探訪 ★

二月になり、少しずつ夜明けが早くなってきました。空は、夜明け前の少し東の空が明るくなり始めるころが一番澄んでキレイです。

お朝時のため自宅からお寺に向かう道の正面に、ひととき明るい金星が輝いています。明けの明星です。秋から年末にかけては夕方西の空に輝いていたのがいつの間にか東に移っていたのです。もう少しすると金星の後から火星が昇ってきます。三月には木星も昇ってきます。オリオン座などが輝く冬の星空と比べると春の星空は少し寂しいのですが、今年の春の夜明けはとても賑やかになりそうです。

◆ ところで宇宙の「宇」は空間の広がり、一「宙」は、過去・現在・未来の時間の広がり、を表すそうです。百数十億歳の宇宙、広がり続けている宇宙、宇宙の中にいる私。なんだかロマンを感じませんか？

くじくイズ QUIZ

仏説阿弥陀経の中に、お浄土の様子が説かれています。そこでは、仏さまの光を受けて、それぞれの花があらまの光を受けて、それぞれの花があらまの光で輝いているとされています。それでは、次の色の花で仏説阿弥陀経に書かれていないのはどれでしょうか？

- ① 青色青光
- ② 赤色赤光
- ③ 緑色緑光
- ④ 白色白光
- ⑤ 黄色黄光

仏説阿弥陀経の中で、ガンジス川の砂の数ほどの仏さまが阿弥陀さまのお徳を讃えています。そのたくさんのお徳があらわれる世界が方角ごとに示されます。その方角が出てくる順番は次のうちどれでしょうか？

- ① 東→西→南→北→上→下
- ② 東→南→西→北→上→下
- ③ 東→南→西→北→下→上

(答えは次号で)

先月号の間違探しの答え

